

特 集／女性井戸端会議からまちづくりへの提案  
町政スポット／5月定例議会 町長と語るお始まる  
小学校単位で子ども見守り隊結成 ほか  
まちの話／ハツジヒメと福めぐり(エコ紀行)  
お守りまると一日体験 ほか

ちびちゃんも私たちを見守ってネ  
かぼちゃっ子見守り隊結成式後の1コマ  
(6月30日：富宿小学校)

広報

あさひまち

2006年7月号  
No. 596



# 朝日町は「朝ごはん食べよう運動」を推進します

今後のまちづくりに女性の声を反映させるべく、昨年スタートした女性井戸端会議。昨年度末、この会議から今後のまちづくりに対する提案がなされました。その内容は、「朝ごはんを食べよう運動」を町を挙げて推進していくというもので、その具体的な方策などについても提案がなされています。

この提案を受けて町は、より効果の高い運動展開のためには何をしていくべきかを、これまで検討してきました。

今回の特集では、女性井戸端会議の提案を受けて、今年度実際に運動が展開される「朝ごはん食べよう運動」の内容についてお知らせします。



朝食は家族みんなで楽しく取りたいもの (川通の志藤宜徳さん宅)

## 女性井戸端会議 最初の提案は「朝ごはん」

今後のまちづくりに女性の声を生かしていきたいと「女性井戸端会議」が発足したのは昨年の六月。公募に積極的に応じてくださった十四人のメンバーから、月に一度の会議をもっていただき、女性ならではの繊細なものの方や感性を生かした、まちづくりに対する様々な視点からの意見や提案をいただきました。中でも、具体的な方策案まで検討いただいたのが、「朝ごはん食べよう運動」の推進についてです。

町の管理栄養士から情報収集したり、他自治体の具体的な取り組みなどを参考にしながら、井戸端会議として最初のまちづくりへの提案が作成されたところです。その提案

書が町長に直接手渡されたのが、去る三月七日。

この提案を受けて、町長はさっそく関係各課に対応を指示。町の将来を担う「人づくり」の重要な施策の一つとして、町を挙げての運動が展開できるよう、担当者レベルによる会議を要請しました。

広報あさひまちでは、「町の将来を担う子どもたちの生活リズムを考える」と題して、子どもたちの食生活の実態と朝食の大切さをうったえる特集を、以前（平成十六年十月号）にも取り上げています。

このたびの提案を受け、今回は更に、具体的な運動として展開されることになりました。これから示す内容が、今後朝日町が「朝ごはん食べよう運動」を推進していくための具体的な方策になりますが、その前に、現代の子どもたちの朝ごはんに関する現状分析

健康を維持し、生活習慣病を予防することは重要なことです。そのためには、バランスのとれた食事をすることが大切だと思います。

長年の食習慣を変えようとなるとなかなか難しいものですので、早期（子どものうち）から正しい食習慣を身につけ、それを維持していただきたいですね。特に子どもの食事は、食事提供者によるところが大きいので、家庭での取り組みが重要です。

現在、食育（食事の教育）が重要視されています。個人だけでなく、家族で、地域で、支えあいながら健康増進を行っていききたいものです。朝食欠食者ゼロ運動を含めた食育活動、中でも、今回の「朝ごはん食べよう運動」は、各家庭や民間団体・学校・保育園・行政との親密な協力体制が築かれなければ実現しません。この運動がより広く展開していくことを、切に望んでいます。



朝日町立病院 管理栄養士 村山 智美



と朝ごはんの効用について、井戸端会議がまとめた内容をお知らせします。

### 「朝食をしつかり食べていない」が全体の3割

園児と小中学生を対象にした町栄養士会（成原千枝代表）によるアンケート調査で、子どもの朝食に関わる現状を分析した結果、しっかりと食べたとは言えないが「少し食べた」、あるいは、「食べなかった」と答えた子どもが、全体の3割におよぶことが明らかになりました（図1参照）。この結果を受けて、少なく

ともこの数値が、今後増えるようなことのないよう先手を打つ必要性、あるいは、あえて課題認識を持つことの重要性を強調します。だるい、眠い、気持ちが悪いや、体調の不良を訴える子どもや、キレやすい子どもが増加しているというのも、食の変化が大きく起因していると言われています。

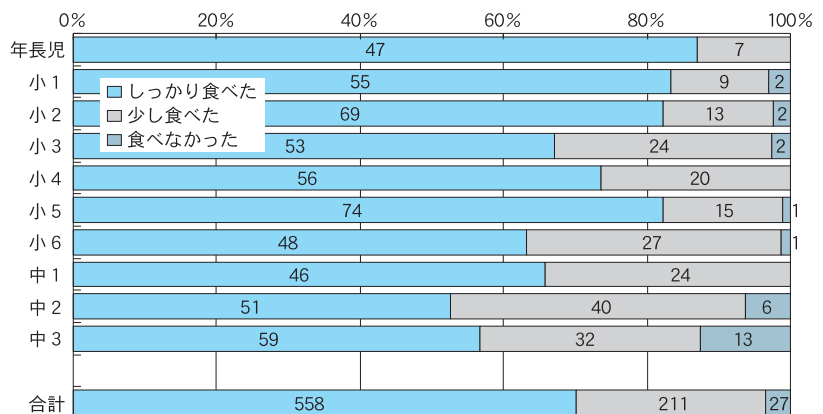
近年、若者や子どもたちの食生活の乱れが指摘され、若い人のやせ志向や子育て世代の低体重化、子どもの肥満の増加などが、全国的に問題となっています。そしてそれは、今に始まったことではなく、世代をまたいで引き継がれている、予想以上に根深く厳しい問題と言えるのです。

ここ数年でも生活形態の変化が著しい現代社会。しかし、これらのことを「生活形態が昔とは違うから」という理由だけで、あっさり片付けてしまっていない

化が著しい現代社会。しかし、これらのことを「生活形態が昔とは違うから」という理由だけで、あっさり片付けてしまっていない

のでしようか。

子どもたちは、町の将来を担う大切な宝。その子どもたちもいずれば親になり、子育てに直面します。親にとっても子どもにとっても、「食育」は町を挙げて取り組んでいかなければならない重要なテーマ。その中でも朝日町は、一日の活力源となる「朝食」にスポットを当て、「朝ごはん



(図1) 今日、朝ごはんを食べてきましたか？ ※グラフ内数字の単位は人



子どもたちの元気と笑顔の源は、ズバリ朝ごはん！



食べよう運動」を推進していったらいいのではと考えたところからです。

■その他の調査結果より：

▽園児、小学生、中学生と年齢が上がるほど、食習慣が乱れる傾向があります。「しつかり食べた」と答えても、食事内容に偏りのある回答が多く、栄養バランスの乱れとともに、各種栄養素不足の可能性があり、成長期からだを支える食事としては不安を感じます。

▽食の欧米化による問題が注目を浴びる中、本調査では和食が多く良い結果です。ご飯、味噌汁を中心とした和食の献立は、和洋中どんなおかずにも合い、また糖質、たんぱく質、脂質のバランスがとりやすいのでお勧めです。

▽一人で食事をする子どもも（孤食）が増えていきます。そして、孤食よりも父母と一緒にさらに祖父母と一緒に食事をする子どもの方が、量も質も良い傾向がありました。大人と一緒に食事をする場合は、子どもとのコミュニケーションの場であり、心の発達の場でもあります。家庭での食事風

景を、もう一度振り返ってみてはいかがでしょうか。

朝ごはんのススめ  
一石二鳥の朝食効果

朝ごはんを食べることで、次のような効果が期待されます。ぜひ、家族みんなでごはんを食べましょう。

①エネルギーの摂取で五官（五感を起こさせる、目、耳、鼻、舌、皮膚の五つの感覚器官）を目覚めさせ、身体を活性化させる効果があります。一日のスタートには、欠かすことのできないものです。



②脳の活動に必要なエネルギーが補給されるため、学力の向上が図られます。



③大人社会の夜型志向で、その影響が子どもたちにも影響をおよぼしています。朝起きるのが遅くて、朝食を取れない子。朝



食をきちんと取れるということとは、基本的な生活習慣の育成につながります。

④朝食に始まる一日三食をきちんと取ることで、低年齢化している生活習慣病（ガン、糖尿病など）の予防につながります。



⑤他人を思いやる気持ちや社会におけるマナーの向上など、人格の形成につながります。



また、波及効果として考えられることは：

- ⑥食に対する意識が高まることで、地元伝統食や行事食の栄養価などの再認識ができること。そして、次世代への伝承にもつながります。
- ⑦安心で安全な地元産の食材を使えば、地産地消の拡大につながります。
- ⑧栄養のバランスや安心安全など、食材に関する意識の高揚が図られます。

以上、これらのことは当た



## 朝日町は「朝ごはん食べよう運動」を推進します

り前のことのようにですが、子どもの将来を左右する大切なことです。これらを維持していくためには、家庭や地域全体で取り組んでいくことが必要なのです。

### まずは標語と川柳を募集します

町を挙げての運動を展開していくためには、やはり町民のみなさんを巻き込んだ運動として展開していくことが肝要です。

そこで今年度は、運動啓発のための次の三つの事業に取り組んでみようと考えています。

#### ■運動啓発のための標語と川柳の募集

入選作品は、広報紙やお知らせ板に随時掲載していくほか、短冊を作るなどして各家庭に配布し、町民への浸透を図っていきます。

募集期間は八月末日まで。詳細については、八月一日発行のお知らせ板に掲載します。

#### ■元気が出る朝食レシピの募集

出品いただいたレシピは、広報紙や町のホームページなどで紹介していくほか、入選作品については、必要に応じて冊子としてお渡しできるような方を講じていきます。

募集期間は、秋口から冬

(年末)にかけて。詳細については、九月十九日発行のお知らせ板に掲載します。

#### ■朝ごはんを食べよう運動推進大会の実施

町民運動として展開していくためには、運動を推進していくための母体となる団体が必要です。これらの各種関係団体に参加を呼びかけて、推進大会を実施したい考えですが、他事業との兼ね合いもあり、今年度は既存の事業と連携した形で実施します。その中で啓発標語と川柳及び朝食

レシピの入賞者を表彰します。

その他にも、各部署において、食育に関する様々な取り組みが展開される予定です。

各保育園においては、園児たちが畑で栽培・収穫した野菜などを調理・試食することで、食の大切さについて学ぶことにしています。これを元に、町独自の食育カルタを平成十九年度に作成してみることも検討されています。

町教育研究所においては、食育をテーマにした各種取り

組みを実施するほか、各校においても、子どもあるいは保護者を対象にした、食育に関する講話などを予定しているとのことです。

冬の時期に中央公民館で主催している親子料理教室についても、この運動を受けた内容で実施の予定です。

最後に、参考までに、平成十七年六月十日、第162回国会で成立し、同年七月十五日に施行された「食育基本法」について紹介します。

## 食育基本法

(平成17年6月10日成立 平成17年7月15日施行)

食の海外への依存や安全上の問題のほか、偏食や不規則な食事、肥満や生活習慣病の増加、そして、食を大切に作る心の欠如と伝統ある日本食文化の喪失など、これらの問題について、社会全体で取り組んでいくことが必要であり、その対策として国民運動として食育を強力に推進していくために制定された法律です。

食育を、知育、徳育、体育と同じ生きる上での基本と位置づけ、食に関する知識と食を選択する力を習得することで、健全な食生活を実践することのできる人間を育てる目的があります。

#### 《食育推進基本計画の特徴》

◎9項目の目標値を明確に掲げたこと。

中でも主な項目として…

- ・食育に関心を持っている国民の割合 (70%→90%)
- ・朝食を欠食する国民の割合 (子ども4%→0%、20代男性30%→15%…)
- ・学校給食における地場産物を使用する割合 (21%→30%)
- ・食育の推進に関わるボランティアの数 (20%増)
- ・食品の安全性に関する基礎的な知識を持っている国民の割合 (60%)
- ・推進計画を作成、実施している自治体の割合 (都道府県100%、市町村50%)
- ◎食育月間 (毎年6月) と食育の日 (毎月19日) を定めたこと。

# 定例議会

6月定例議会が9日から13日までの5日間の日程で開かれ、国道287号改良（新岩坂橋）工事に伴う中間貯留槽の廃止を受けて、町民への影響が出ないようにし尿処理業者に対する補助金1,000万円のほか、融雪災害及び凍上災害による町道12路線の復旧費1億845万円など、歳入歳出それぞれに1億3,130万円を追加し、平成18年度予算総額44億1,230万円とする一般会計補正予算を含む24議案が審議、可決されました。議案の採決事項は次のとおりです。

①任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員の熊坂淑子氏（元町）を再任する。

【同意】

②事業の精査で事業費の過不足及び地方債許可予定額が確定し、予算を補正する必要があるため、平成十七年度朝日町一般会計補正予算の歳入歳出それぞれから二百万円を減額したことに承認を求めめる。

【承認】

③医療給付費の減額で、財源を補正する必要があるため、平成十七年度朝日町老人保健特別会計予算の歳入歳出それぞれから一億三百五十万円を減額したことに承認を求めめる。

【承認】

④保険給付費の減額で、財源を補正する必要があるため、平成十七年度朝日町介護保険特別会計予算の歳入歳出それぞれから二千四百五十二万一千円を減額したことに承認を求めめる。

【承認】

⑤地方税法の一部改正で、朝日町税条例を一部改正する必要があるため、改正する条例を制定したことに承認を求めめる。

【承認】

⑥農村地域工業等導入促進法の一部改正で、朝日町農村地域工業等導入地区固定資産税課税免除条例を一部改正（適用期限を延長）する必要があるため、改正する条例を制定したことに承認を求めめる。

【承認】

⑦診療報酬等に係る厚生労働省告示の改廃で、朝日町立病院・診療所使用料等条例を一部改正する必要があるため、改正する条例を制定したことに承認を求めめる。

【承認】

⑧厚生労働省から「診療報酬の算定方法」が告示されたこととで、朝日町国民健康保険条例を一部改正する必要があるため、改正する条例を制定したことに承認を求めめる。

【承認】

⑨地方税法の一部改正で、朝日町国民健康保険条例を一部改正する必要があるため、改正する条例を制定したことに承認を求めめる。

【承認】

⑩平成十八年度朝日町一般会計予算の歳入歳出それぞれに一億三千三百三十万円を追加し、予算総額四十四億一千二百三

## 町政報告

■本格的な降雪前の復旧に向けて 大船木地すべり災害

四月七日に発生した大船木地区地すべり災害。県から示された復旧計画では、災害関連緊急地すべり防止事業が七月着工で十一月完成、主要地方道長井大江線道路災害復旧事業が九月着工で十二月完成と、それぞれの機関から尽力をいただいている。

■貯水槽設置への補助金の交付決定なる

今年度の国庫補助事業に要望していた耐震性貯水槽4基（西町・緑町・西船渡・能中）について、補助金の交付決定を受けた。現在発注の準備を進めている。

■動き出す町の情報化施策

総務省より平成十八年度地域情報通信基盤整備推進交付金事業の内定をいただき、現在、本申請に向けての作業が進んでいる。正式な決定通知が届き次第、プロポーザル方式により施行業者を決定したい考え。また、庁内に情報化

施策の総合的な推進主体となる「町地域情報化推進本部」を設置。事業の効果的な推進を図る。

■団塊の世代を定住対策のターゲットに

四月より、結婚支援を希望する方から聞き取り調査を実施。定住対策については、受け入れ相談窓口を定住対策係に一元化するとともに、二〇〇七年に700〜800万人という大量の退職者が発生する、いわゆる団塊の世代をターゲットにしたタイムリーな情報発信と、住宅対策についても検討を進めている。

■子育て支援に積極的な取り組み

早期保育や夕方の延長保育、子育て支援センターによる未就園児を対象とした出前保育、ヤングママを対象とした子育て相談等の事業に、積極的に取り組んでいる。

■増える要介護認定者

四月一日現在での要介護認定者数は、前年度より37人増の491人。認知症等高齢者の介護問題が深刻化している中、ふれあい荘のシヨ

# 寄付採納報告

- ①木製ベンチ10基(400,000円相当)  
山形県森林組合連合会 代表理事会長 佐藤景一郎 氏  
西村山地方森林組合 代表理事組合長 土田和一郎 氏
- ②刺又14本→町内小中学校に  
山形県立寒河江工業高等学校長 佐藤 啓 氏
- ③児童図書104冊(129,597円相当)→西五百川小に  
阿部宗一郎 氏 (常盤)
- ④児童図書52冊(79,884円相当)→和合小に  
竹田ゆき 氏 (東京都世田谷区在住)
- ⑤金員500,000円→西五百川小に  
佐竹孝吉 氏 (常盤)
- ⑥防犯ベル55個(35,640円)→町内小学校の新入児童  
朝日ロータリークラブ 会長 多田清一 氏
- ⑦金員100,000円 堀 惣次郎 氏 (舟渡)
- ⑧防犯灯10基(243,000円相当)  
東北電力株式会社寒河江営業所長 石橋 浩 氏  
株式会社ユアテック寒河江営業所長 石山 俊男 氏
- ⑨金員100,000円 清野 隆 氏 (四ノ沢)
- ⑩平成17年度町内小中学校卒業記念品  
・ジェットヒーター1台(70,000円相当)  
→宮宿小へ 保護者代表 富樫明美 氏  
・雑壇一式(100,000円相当)  
→大谷小へ 保護者代表 志藤宜徳 氏  
・花瓶1基(8,000円相当)  
→和合小へ 保護者代表 菅井俊孝 氏  
・オーディオミキサー・ビデオ内蔵テレビ・テーブルコーダー・DVDプレーヤー  
各1台(129,000円相当)  
→朝日中へ 保護者代表 松田勝美 氏

- 【原案可決】  
また、同委員の報酬を定めるため、朝日町特別職に属する者の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定。
- 【原案可決】  
大隅南二号線、野々山線、曲淵中央線の4路線を町道に認定する。
- 【原案可決】  
②③ 異常な高金利(年29・2%)である「出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律」の上限金利を、少なくとも、利息制限法の制限金利まで早急に引き下げること。また、その制限利率を上げないことを要請する意見書の提出。
- 【原案可決】  
④ 役場内組織機構の見直しに伴う朝日町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定。
- 【原案可決】  
⑤ 平成十八年度朝日町水道事業会計予算の資本的収入に七百万円を追加し予算総額二千七百万円に、同支出に二千七百万円を追加し、予算総額一億一千五百二十万円とする。
- 【原案可決】  
⑥ 財産(生化学自動分析装置一式11992万2,500円)の取得。
- 【原案可決】  
⑦ 路線の見直しで町道栗木沢線を廃止し、新たな栗木沢線を町道に認定する。
- 【原案可決】  
⑧ 新たに大隅南二号線、

トステイとデイサービスの増床オープン、更には認知症対応型グループホームの参入など、町内の介護支援施設の充実が期待が寄せられる。

## ■介護予防の施策を積極的に展開

地域包括支援センターを四月一日に町直営で設置。各集落単位の「元気クラブ」の推進など介護予防事業の充実を図り、高齢者が安心していきいきと生活していけるための総合的な支援を行う。

## ■各種補助事業で対応 豪雪被害対策

昨年十二月からの豪雪による被害を軽減するため、融雪剤の補助(約430戸1150ヘクタール分)や農道除雪補助(39地区1150路線)を講じてきた。果樹の枝折れやビニールハウスの倒壊など甚大な損害には、果樹の苗木購入やハウス復旧への補助等の施策を講じている。

## ■「売れる米づくり」への取り組み

堆肥センターで生産された堆肥を約50ヘクタールの水田に散布するとともに、「地

域とも補償制度」を活用し、減農薬や減化学肥料の栽培を推進している。

## ■平成十九年度からスタートする「経営所得安定対策」

農業共済組合、農業委員会、農業協同組合などの関係機関とともに、生産者説明会を開催。今後は各地区座談会を開催し、農家の理解を得ながら集落営農の推進を図っていく。

## ■平成十九年度完成の見通し

長根地区農免農道整備事業については、長根3期地区(約410メートル)の開設工事が予定されている。

## ■朝日自然観 1,000万円増の売上

五月十七日に第七期株主総会が開催された朝日自然観。取締役の任期満了により菅井敏夫氏が退任し、6人の取締役が再任。私(町長)が引き続き代表取締役社長を務めることになった。

昨年度の売上高は、職員員の懸命の努力もあり1,000万円増を達成。特に長寿パーク利用者は20%増となった。

## ■宮宿、和合、三中の地域振興計画案が最終段階に





木沢区の町長と語るの様子

## 町長と語ろう始まる

町長が町内全集落を訪ねる「町長と語ろう」が、6月23日の栗木沢区を皮切りに今年度も始まりました。町民の目線に立った町政運営を行うためには、直接町民と膝を交えて生の声を聞くことが必要と、昨年度に引き続き実施しているもので、提案事項を次年度予算に反映させられるようにと、今年度の11月頃まで各区の公民館で開催されます。

今回は、今年度中に町内全域に整備される「光ファイバー」について理解を深めてもらおうと、住民説明会を兼ねて実施。

参加者からは、時の話題である屋外における子どもの安全対策などに、提案がなされていました。



## からだすっきりセミナー

第2期生として新たに16人が加わり計32人の参加で、糖尿病予防教室「からだすっきりセミナー」が今年度も始まりました。検査の結果、要注意あるいは境界型と診断された方から参加者を募り3年間、改善策を施していくこのセミナー。2年目を迎える1期生との合同研修会が6月30日、創遊館で開催されました。

「糖尿病について」と題し講演した町立病院の小林達院長は、検査結果の正しい見方、万が一糖尿病に罹ってしまった場合の体の状態やその治療法などについて、こと細かに解説しました。この一年を新たな気持ちでスタートできる、そんな開講式にふさわしい内容となりました。

平成十八年度の「美しい農村づくり」プロジェクトは、完成した振興計画の実践と、各地区共有する課題や連携策について検討を重ねている。

■融雪・凍上による災害へは6月補正で対応

融雪による災害は、町道2路線、農道5路線、水路2箇所、農地1箇所、ため池1箇所。凍上による災害は、町道白倉線他14箇所が発生。復旧に要する経費については、補正予算で対応したい考え。

■三月末に事業認定「まちづ

くり交付金事業」

大町排水路整備や町道大町新宿線をはじめとする町道整備、まちづくり活動などの5カ年計画が認定を受けた。初年度事業は大町排水路整備。

■医療の質の向上と病院経営の健全化に向けて

町民の方が充実した専門的な診療を受けることができるよう、今年度も糖尿病外来をはじめ、肝臓外来、循環器外来などの専門外来を実施。また、病院経営の健全化を図るため、病院内に院長をトップ

とする「経営改善検討委員会」を設置し、経営改善方策等について検討を重ねている。

■西・北部公民館の今後の在り方を検討

第3次朝日町行財政改革実施計画（集中改革プラン）に基づき、今年度中に西北部公民館の今後の在り方を検討するため、部内に地区公民館検討部会を設置。先進地域事例調査、地域住民のヒアリング、集落実態調査などを行いながら素案の作成を行う予定。

## 戸籍事務を電算化します

町では、来年2月の稼働に向けて、戸籍事務の電算化の準備を進めています。

戸籍事務の迅速化、効率化など、行政サービスの向上を図るため、平成19年2月から、戸籍事務にコンピュータを導入することになりました。

☆現在の戸籍は縦書きですが、電算化により横書きとなります。

☆明治以来、紙で管理してきた戸籍が、コンピュータでの管理となります。

☆戸籍謄本等はコンピュータで発行しますので、待ち時間が短縮されます。

※詳細については、広報あさひまち10月号から3回シリーズでお知らせします。



## 子どもを見守る地域のネットワーク広がる

町の将来を担う子どもたちを、凶悪な犯罪や事故から町を挙げて守っていかうという「朝日町子どもセーフティネット」の設置を受けて、各小学校単位に「子ども見守り隊」が結成されました。

中でも先陣を切ったのが、宮宿小学区における「かぼちゃっ子見守り隊」。多田賢司中部地区防犯協会長を隊長に、呼びかけに賛同して集まったボランティアの隊員は71人。子どもたちと見守り隊員との顔合わせの場となる結成式が6月30日、同校で行われました。隊員たちは、朝日ロータリークラブ（多田清一会長）と町が用意した肩章を身に付けて結成式に臨みました。

7月4日には和合小学区で発足。西五百川小及び大谷小の両学区についても、夏休みまでには結成の予定です。

また、町安全運転管理者協議会（伊藤秀一支部長代行）が、このほど「子ども安全パトロール実施中」のマグネットシート100枚を作成し、町内32社の事業所の車両に貼付。犯罪抑止に向けて大きな効果が期待されます。



見守り隊員と堅く握手する6年生（宮宿小）



登校する児童に声をかける見守り隊（和合小）



役場の公用車にも貼付された犯罪抑止マグネットシート

### ラストゲーム

ワールドカップドイツ大会は、フランスとの決勝でPK戦を制したイタリアの優勝で幕を閉じました。「シダン、レッドカード。退場」

一対一で迎えた延長戦後半、今大会を最後に引退を表明しているフランス主将シダン選手が、相手イタリア選手の胸に頭突きをし、地面に倒し

退場処分を受けました。

決勝戦という最高の舞台。選手生活締めくくるといふ最高の舞台。選手生活のステージの檯舞台から、自らの原則でピッチを去らなければならぬフランスの英雄の後ろ姿。彼の胸に後悔の文字が刻まれることはないと思いたい。しかし、その胸の内は察するに余りある最期ではなかったのだろうかと思われてなりません。

「最初と最後は一回しかないんだ。最後の一本、きっちり決める！」

ノックバットを持った高校時代の野球部の監督の言葉が、今でも耳の奥底にこだまします。「どんなに辛い練習でも最後は一本だけだ。ずるずるするのではない。気持ちを入れ、集中して最後は一回できちんと決める」これが監督の教えでした。日々の練習の中で、いやと言いつ

ど鍛えられた心と身体。一瞬一瞬に全精神を集中し、最後の一秒まで懸命にプレーする選手の姿。その汗と真剣な眼差しが、私たちに感動を与え、そのプレーに人生を考えさせられる。そんな中でのシダン選手の退場。ピッチを去る彼の後ろ姿が、今

も胸に焼き付いて離れません。

朝日町長 鈴木浩孝

### 現在進行形 平成のRINGO PJ vol.7

本プロジェクトも2年目に入り、昨年度培った研修の成果を反映させて、組織および経営を担う人材・商品・販売力の要素について実践的な形で研修を進めます。

食産業を主体にする今年度の研修内容は、一つ目に戦略経営やマーケティングについての座学、二つ目に生産販売の準備、三つ目に派遣による技術習得となっています。食産業以外については、経営講座やマーケティング、商品企画等の公開講座及び地域ビジネス向けの公開研修を予定しています。参加対象者は、町内に就労及び起業・多角化を予定している町内外の方。第二期生として、あるいは、公開講座などに関心をお持ちの方はお問い合わせください。

問 RINGOプロジェクト事務局（役場産業振興課産業促進係内） ☎67-2113  
URL <http://www.asahi-ringo.net/>



水とくらしの探検隊 西ノ沢堰  
(7月2日/送橋地内)

# まちの話題



がっこうの旗をつくろう  
(7月1日/あとりえマサト)

## ①町エコミュージアム紀行「ハツ沼七不思議めぐり」(7月9日/ハツ沼地内)



### 大石の化け石にびっくり

町エコミュージアム案内人の会(堀敬太郎会長)が主催する「一伝説一ハツ沼七不思議めぐり」が、7月9日開催されました。同会副会長で、七不思議の一つ「沼中の変水」ゆえんの地春日沼に隣接する春日神社宮司でもある宮本建一さん(西船渡)が案内人となり、「大石の化け石」などこの地に伝わる不思議な謎を見て回りました。約30人が参加。

宮本さんの丁寧でユニークな説明に聞き入りながらも、不思議そうに首をかしげる参加者たち。町の新たな発見ができたこと。また、一緒に汗を流し歩き通した同士として親睦をも深めることができ、とても有意義な一日となりました。

## ②お寺のまるごと一日体験塾(7月7日~9日/若宮寺ほか)



### 修行の締めは20分間の座禅

お寺での厳しい生活をとおして、最後まであきらめない強い心を育んでもらおうと、ハツ沼の若宮寺で4年前から行われているお寺のまるごと一日体験塾。今年も町内の小学4年生から6年生まで25人が参加し、7月7日から2泊3日の日程で開催されました。参加者たちを傍から支援しようと、中高生らもボランティアとして協力しました。

同寺の副住職である登坂高典塾長の説法のもと、写経や写仏、座禅などに挑戦したほか、殺生の許されない3日間を一汁一菜の粗食で通しました。修行の締めくくりは大人でも難しい20分間の座禅。穏やかな気持ちと精神の集中で最後まで成し遂げました。

## ③お年寄りたちに満面の笑顔 各地区で「元気クラブ」の活動始まる



園児たちに肩を揉んでもらい笑顔のお年寄りたち(大町)

### 今年新たに6つの集落で実施

お年寄りの寝たきり防止や閉じこもりを防ごうと、昨年まで各集落ごとに活動が展開されてきた「いきいきデイサービス」。今年度は「元気クラブ」と名称を変え、お年寄りたちが地元の婦人会や子どもたちと年間を通した様々な活動をもとにふれあう場として、広がりを見せています。

今年度は33団体(高齢者生産活動7部会を含む)の実施に向けて町がそれを支援。今年度に入って新たに活動を始めた元町、古槇、長沼、西船渡、石須部、立木の6集落を含め、これまで24集落が実施。

今後実施が予定されている集落もありますが、最終的には55全集落に展開していく活動です。



## ⑤ 消防第1分団非常招集訓練 (7月2日/和合地内)

### AEDを使った町内で初めての訓練

7月2日、心肺蘇生法の実技訓練と消火訓練が、和合地区で開催されました。中でも、町の女性消防団員らが指導にあ



たった心肺蘇生法については、町内で初めてとなるAED(自動体外式除細動器)を利用した訓練が行われました。このAEDは、傷病者に装着すると自動的に心電図を解析し、必要に応じ心臓に電気ショックを起こすことができるもので、全て音声で指示が出されます。

傷病者発見から人工呼吸、心臓マッサージ、AEDを組み込んでの実践に近い心肺蘇生法の流れを実際に体験した参加者たち。「やっぱり実際にやってみるのが一番だねえ」と感嘆の声しきりでした。

※長岡秀典さん(栄町)より写真提供

## ④ 第35回山形県 母と子のよい歯のコンクール

### 優良賞に阿部明美さん・明人ちゃん親子

社団法人山形県歯科医師会主催する山形県母と子のよい歯のコンクールで、阿部明美さんと明人ちゃん親子(西原)が優良賞を受賞しました。

「歯の衛生週間」事業の一環として毎年実施されているもので、昨年度の3歳児歯科検診の際、母子ともに虫歯のない親子を町が推薦していました。

「こんな表彰があるなんて知りませんでした。でも受賞したことの連絡をもらった時は、本当にうれしかったです」と語ってくれた明美さん。

歯みがきが大好きなお兄ちゃんたちの影響もあってか、三男の渉ちゃんも自ら歯ブラシを手にし、仕上げみがきをせがむのだとか。過去に、長男の健太ちゃんも虫歯ゼロ賞を受賞。「これまで以上に歯みがきを頑張る!」と話してくれた明人ちゃんでした。



(左から) 明人ちゃん  
明美さん 渉ちゃん

## ⑥ 秋葉山周辺桜回廊ボランティア作業(7月2日/秋葉山周辺)

### 民間主導型のボランティア作業

秋葉山周辺の桜回廊として平成12年に整備された遊歩道の下刈り作業がこのほど行われました。大谷五区の壮年たちで組織する峯友会(川村文利会長)と、その呼びかけに賛同した大谷連合区(白田進連合区長)、当時の植樹祭に参加した関係者など約50人が参加。地元の活性化のため、日頃から集落内で奉仕活動などを続けている峯友会が、行政に頼ったままではいけないと、活動範囲を広げて実施したボランティア作業。約500メートルに及ぶ距離を一斉に刈り上げました。

※小林重敏さん(大谷五)より写真提供



## ⑦ 鉄パイプ電線管による配線配管工事の技術を競う大会(6月14日/仙台市)

### 清野大輝さん(小原)が優勝

「自信を持って望んだものの、他の参加者たちの出来具合を見てだめだと思った。結果発表で自分の名前が呼ばれた時は、かなり嬉しかった!」と語ったのは、西川町の電気工事会社に勤務する清野大輝さん(小原)。去る6月14日に仙台市で行われた(株)ユアテック山

形支社内線技能競技会で、みごと優勝の栄冠に輝きました。鉄パイプ電線管による配線配管工事の技術を競うもので、県内各営業所から選りすぐりの8人が参加。「指導してくれた先輩方に感謝したい。でも、まだまだ未熟なので、これを機により上の技術を身に付けられるよう、日々の仕事に頑張りたい」と抱負を語ってくれました。



優勝盾を手に笑顔の清野さん

# みんなのひろば



寒河江市で開催された「花咲かフェア」が「え」の会場で、六月十三日から五日間、長岡信子さん（太郎二）による『多肉アート』作品が展示されました。河川の流木を土台に寄せ植えされた見慣れない肉厚の葉。そこから伸びた茎の先についた可憐な花。なんとも不思議な美しさを漂わせる植物の数々。信子さんが多肉植物と出会って二十五年。「ある時、床に落ちていた一枚の葉っぱ。その葉から根が出ていて一つの株になっていました。たとえば床の上でも生きようとする姿に感動しました。個性的な花を咲かせる



## 今輝いて

多肉植物に魅せられて...  
長岡信子さん  
(太郎二)



し、秋には紅葉もするし、食べられるものもあつたりと、とても魅力のある植物なんです」と語る信子さん。昨年四月、神奈川から夫の孝治さんの生家があるこの地に引っ越して一年余り。「四十七年ぶりに生まれ育ったこの町に戻り、永住を決めました。夏は流木拾いと花壇づくり。冬はストーブの近くで流木細工。この一年楽しく過ごしました」と語る孝治さん。信子さんの要望を聞きながら、多肉アートの土台となる流木の加工を一手に引き受けています。「多肉に限らず、山野草や宿根草、バラ、クレマチス等々で、家の前の庭一面を埋め尽くすこと。それが私の夢であり、同時にライフワークです」と語る信子さんです。

### 各種大会の成績

(○内数字は順位)

■第36回西村山地区中学校総合体育大会〔6月17、18日及び6月27、28日/管内各会場〕

#### 《団体》

- ①女子バスケットボール ①男子剣道 ①女子剣道 ②陸上女子総合 ③女子柔道 ③男子卓球 ③ソフトボール ③水泳男子総合

#### 《個人》

- 柔道 Ⅱ▽男子48キロ級 ③鈴木裕平▽同55キロ級 ③澤俊輝▽同66キロ級 ③今井健太▽同73キロ級
- 高橋拓也 ③鈴木達也▽女子44キロ級 ①和田麻里奈▽同48キロ級 ③五十嵐寛美
- 剣道 Ⅱ▽男子 ②堀隼聡 ③佐藤陸 ③阿部陽祐▽女子 ①成原佳紀 ②富樫幸姫 ③白田瑠璃
- 水泳 Ⅱ▽男子 ⑤M自由形 ①柴田大輝▽水泳男子 ①〇〇M自由形 ①柴田大輝
- 陸上 Ⅱ▽男子 一年 ①〇〇M ③村山和樹▽男子 一年 ①〇M ハードル ③菅井貴史▽男子 低学年 4×100M リレー ③長



- 岡佑治・村山和輝・阿部陽祐・安藤一樹▽男子走り幅跳び ③高橋拓也▽女子一年 ①〇〇M ③若月未来▽女子三年 ①〇〇M ③川口愛祐美▽女子二年 ②〇〇M ①川口愛祐美 ③五十嵐綾花▽女子八 ①〇〇M ①近藤香澄(予選記録 2分19秒69 Ⅱ大会新)▽女子一 ⑤〇〇M ①近藤香澄 4分59秒8 Ⅱ大会新▽女子 4×100M リレー ①川口愛祐美・川口愛梨沙・山内彩・近藤香澄▽女子走り高跳び ②佐竹美咲
- 西部女性スポーツ教室、ヒールバレエボール大会〔7月2日/健康増進センター/参加チーム数7〕
  - ①八ッ沼(阿部千恵美監督)
  - ②夏草(稲村由里子監督)
  - ③松程B(阿部登喜子監督)
  - ③太郎B(阿部幸枝監督)
- 第28回町ソフトボール大会兼社会人村山地区ソフトボール大会予選会〔7月9日/西部地区グラウンド/参加チーム数7〕
  - ▽Aコート ①LED OWLS(和田昭俊代表) ②前田沢ソフトボール愛好会(阿部彰代表) ③栄町ソフトクラブ(今井照明代表) ⅡBコート ①シルバーベアーズ竹(熊坂正一代表) ②シルバーベアーズ梅(同) ③レディーズ朝日(鈴木久美子代表)





八ツ沼  
小松

洋介  
沙緒里

さん  
さん

新婚さん

お友だち同士の関係から、自然とお付き合いが始まったというお二人。でも、その当初から「私たち、結婚するかも…」とお互いに感じていたそうです。

それぞれの第一印象は、沙緒里さんは洋介さんを「かっこいい!」、洋介さんは沙緒里さんのことを「しっかりしてそう」、と思ったそうです。そして今、洋介さんは「頼りがいがある」、沙緒里さんは「やっぱりしっかりしている」と、お互いこの人ではよかったという思いがあふれているようです。

「笑顔のたえない明るい家庭にしたい」という洋介さんの言葉に、沙緒里さんは「今の幸せがずっと続くといいな」と、ちょっぴり照れながら語ってくれました。

「子どもは最低でも4人は欲しい!」と話す沙緒里さんの横で、「がんばらなくちゃ」とつぶやく洋介さん。沙緒里さんの育った朝日町の自然がとっても好きとのこと。

明るいお二人。この豊かな自然の中で、素敵な家庭を築いていかれることでしょう。どうぞお幸せに!

町立図書館おすすめ

今月話題の本

うそそうそ

畠中恵著



初めての長旅に張り切る若旦那だったが、誘拐事件に天狗の襲撃、謎の少女の出現と、箱根でのんびり湯治の予定が思いも寄らぬ珍道中に…。大好評「しゃばけ」シリーズ第五弾。

うそつき大ちゃん

阿部夏丸著



クラスの中で、いつも仲間はずれにされている「うそつき大ちゃん」。ある日、ぼくは、大ちゃんが川辺で奇妙な行動をしているのを見つけた…。迷いながら、寄り道しながら、大切なものを見つけていく少年たちの物語。第52回青少年読書感想文全国コンクール課題図書。

その他の新刊

- ▼帝都衛星軌道(島田荘司) ▼聞き屋与平ー江戸夜咄草ー(宇江佐真理)
- ▼押入れのちよ(荻原浩)
- ▼お火役凶状(澤田ふじ子)
- ▼白州次郎 占領を背負った男(北康利) ▼まっすぐに(青木あきみ)
- ▼名将佐竹義宣(南原幹雄)
- ▼黒い朝 白い夜(岩井志麻子)
- ▼銃とチョコレート(乙一)
- ▼旅のいろ(北方謙三) ▼文士の生醜魅(車谷長吉) ▼余命(谷村志穂)
- ▼風に舞いあがるビニールシート(森 絵都) ▼贅の夜会(香納諒二) ▼オシムの言葉(木村元彦)
- ▼ひよこのひとりごと(田辺聖子)
- ▼愛を海に還して(小手鞠るい)
- ▼ヴァインテージ・シックス(石田衣良) ▼戦争を知ってよかった(曾野綾子) ▼あめふらし(長野まゆみ)

マンガ家長岡良子さん(太郎出身)の原画展を開催します。「眉月の誓」等の古代ロマンシリーズを中心に、創遊館ギャラリーで展示します。  
7/25(火)~8/18(金)

## みなさんからのおたよりでつくるコーナーです。

町に対する意見や要望、提案みなさんの周りでの出来事や話題、日頃感じていること、イラスト、質問などお待ちしております。

■あて先／〒990-1442 朝日町大字宮宿1115番地  
朝日町役場 政策推進課 地域情報係  
(電話：67-2112 ファックス：67-2117)

■Eメール／kikaku@town.asahi.yamagata.jp

■URL／http://www.town.asahi.yamagata.jp

■携帯電話向けサイト「モバイル朝日町」／http://www.town.asahi.yamagata.jp/keitai/index.html

# 町民の声



## 団塊の世代に対する 朝日町の対応は？

**二** 〇〇七年問題といわれている、団塊の世代の大量退職に対して、他の市町村では何らかの対策を練っているようですが、町としてどのような対策を考えているのでしょうか。【匿名】

**回** 塊の世代の、第二の人生を過ごす場所として移住してもらう、また、都会と朝日町を行ったり来たりして暮らしてもらう、そのような方も、ぜひ誘致していきたいと考えています。そのために、町や交流居住のホームページ等を活用しての情報発信や、Uターンを促すためのパンフレット「来てからっしやえ！朝



日町へ」の作成、受け入れ態勢の整備等を現在進めているところですが、より多くの方から来ていただけるよう、町民の皆さんのご協力もよろしくお願いいたします。

## カーブ手前の停留所 危険なので変更を！

**町** 営バスの大滝停留所が、白鷹町方面から見て車道（国道287号）のカーブ手前にあり、朝のラッシュ時など停留所に止まっているバスの前に出ようと反対車線に出ようとすると、反対車線の車にぶつかりそうになります。

カーブの手前に停留所があるのはいかがでしょうか。事故が起こる前に変更してください。【匿名】

**危** 険とのご指摘があったこの場所は、以前に走行していた俣山形交通の定期バスの停留所であったことから、現在に至っても町営バスの停留所として利用している箇所です。しかし近年、道路環境の整備に伴う交通量の増加と

スピード化、車両の大型化などにより、定期バスの運行当初とは比較にならないほど、交通環境は厳しい状況になっていると言わざるを得ません。このような状況を踏まえ、何らかの対応を早急に施していく必要があると考えます。

危険回避のために停留所の移動が必要となれば、数十メートル移動させなければならぬし、バスの利用者子どもとお年寄りなどを考慮すれば、地元住民の方にも十分に検討を重ね、最良の策を講じていかなければなりません。



危険とご指摘があった国道287号大滝地内(写真真が白鷹町方面)

住民の安全確保のために、今やらなければならないことは何か。走行中の車両に注意を促すための表示を行うなど、別の対応策も視野に入れながら、今後適切な対応をまいります。

## 【税務町民課】



徳利蜂の巣？

西部地区健康増進センター裏の軒下に作られた蜂の巣。見ての通り、口のなが〜い徳利を逆さまにした形の巣です。

おしゃれな模様もついている。実際に、これは徳利蜂の巣なのか？半信半疑で周囲を見渡したところ、隣には陶芸教室用のプレハブ小屋が…。なるほど！人間の芸術作品に負けじと感化された現象か？

松田操さん（栄町）の畑で見つかった三つ子茄子。茎部の2本がくっついて、うち1本が1卵生双生茄子？子どもなす（＝産む）という意味から、人口一万人復活に向けた吉報の前ぶれか！



三つ子茄子？





平成18年(2006年)  
 ■6月1日～6月30日届出



### すこやかに

区名	出生児氏名	性別	保護者名
西町	佐竹紫音	女	正敏・麻美
栄町	武田翼	男	貴浩・美紀
大町	峯田結羽	女	重幸・博美
水本	土屋華隠	女	智・和美
前田沢	熊谷美菜	女	喜美夫・蘭
助ノ巻	安藤瑠七	女	弘次・みどり
大谷四	鈴木明空	男	征司・絵里子
新宿	熊谷帆香	女	聡・博子



### やすらかに

区名	死亡者氏名	世帯主名
栗木沢	遠藤キクヨ	留雄
大暮山	阿部キヌエ	満弘
能中	伊藤ミチエ	本人
長沼	海野久司	本人
大町	多田健吉	光助
松原	長岡仙太郎	つる
小原	鈴木新太郎	敏則
太郎二	長岡キヌエ	俊治
栗木沢	白田きみの	継男
常盤	佐竹孝吉	本人

掲載を希望しない方は、届出の際にお申し付けください。

### 人口と世帯数

- 平成18年6月30日現在
  - 人口 8,685人(減10人)
  - 男 4,301人(減6人)
  - 女 4,384人(減4人)
  - 世帯数 2,550戸(減1戸)
  - ( )内 前月比

## きょうの健康 あしたの健康

介護保険制度が4月1日より改正され、町に地域包括支援センターが立ち上がりました。ここでは、介護状態にならないように個々の状態に沿った支援やサービスを実施していきます。その事業の一つとして、介護予防教室があります。参加が望ましい方に対しては、こちらから直接ご案内させていただきます。

介護予防教室の内容は、次のとおりです。

**7月4日スタート!!**

### 「ぴん・しゃん教室」(介護予防教室)

#### 1. 内容

- ①運動専門スタッフの指導により、筋力トレーニング、有酸素運動、ストレッチ体操を行います。
- ②管理栄養士の指導により、みんなで楽しく「料理教室」をします。
- ③ゆっくり、まーったり、温泉でくつろぎましょう。(※10月から実施)
- ④保健師または看護師による健康相談・健康チェックを行います。

#### 2. 場所

開発センター  
 または高齢者活動センター  
 自宅まで送迎いたします。



体力チェックの風景

#### 3. 回数

週1回(毎週火曜日) 1コース3ヶ月間

#### 4. 参加費 1回400円(昼食代)

問 健康福祉課 地域包括支援センター  
 ☎67-2156(直通)

実自体に葉っぱを付けたきゅうりが見つかりました。実の一部が茎化したもので、葉の大きさは4センチ程の大きさです。この情報をくださったのは、大暮山の阿部京子さん。

「長年栽培しているが、こんなきゅうりを見たことない。何か良いことがあるのかも…」と、突然の珍事に目を細めていました。



きゅうりの実に葉っぱ?

# 朝日町フォトコンテスト

この町には「自然」「歴史・文化」「人」など、ふるさとを感じさせる宝物のような風景が数多く残っています。昭和29年11月に合併し一昨年50周年を迎えた朝日町。これを記念し「今残したいふるさとの宝」をテーマに募集したもののなかから、選りすぐりの作品を紹介します。

## 入選「夏まつりの夜」



趣味で写真を撮り始めて7年になります。朝日町の祭りやイベントなどには欠かさずとっていいほど訪れており、この日も新聞に掲載されたイベント情報でカメラ片手に駆けつけました。

どういった祭りなのかわからないまま行列を追ってみました。様々な催しがあってとても楽しく楽しむことができました。その中でも、神秘的な笛の音に合わせて踊る勇壮な獅子の動きに感動し、思わずシャッターを切った、その時の1枚です。

撮影者 山 川 由美子 さん（山形市小白川町）

### 春夏秋冬

編集後記

▽朝、自転車に乗った赤ジャージの中学生。しばらくすると、今度はそれは反対方向に自転車を走らせる。やはり赤ジャージ。平日なのにいつか、どうしたのか……。そうかいよいよ「キャリア・スタート・ウィーク事業」の始まりだ。

▽主体的に自己の進路を選択・決定したり、激しい社会の変化にも対応し、社会人や職業人として自立できるようにと、今「キャリア教育」の推進が強く求められています。

▽その趣旨を理解いただき、受け入れを快く許可くださった町内23の企業で、中学二年生74人全員が職場体験活動に助きました。期間は五日間。

▽親身になって指導いただいた各企業の方々はもちろんですが、やはり中学生自身が最も堪えていた様子。

しかし、それ故の収穫。これまでにない経験で、これまでにない学びが何かしらあったに違いありません。

▽各小学校単位で地域の皆さんに協力を呼びかけた「子ども見守り隊」。多くの方々から賛同を得て、近々中にも全ての学区で見守り隊が結成される運びです。

▽「皆さんが大人になった時は、見守り隊なんかないですね。世の中になつていいですね」。かほちゃん子見守り隊の多田隊長が最後に締めくくったあいさつに、町民全ての本来の願いが込められている、そんな気がしました。

#### 笹かざり

子ども見守る 登校路

(はやけん)



広報「あさひまち」は再生紙を使用しています。